

**Overview:** 主イエスは再来する前に、正常な召会生活を完全に回復します。この神の終極の行動にあずかるために、私たちは召会生活の中で主によって測られ、神の家から出る命の流れを経験すべきです。さらに私たちは命の流れ、命を与える霊としてのキリストを享受して、他の人に命を供給するものとなるべきです。それは神の威厳ある家を建造するためです。私たちが神の威厳ある家を建造することに分があるとはなんとすばらしいことでしょう！

**I. 私たちは神の終極の行動にあずかるために、神の家から出る命の流れを経験する必要があります:**

**A. 神の終極の行動は、人の中での神の行動であり、神の命、性質、要素、本質において神であるすべてをもって人に浸透することによって、人を神化し、神に栄光、表現を得させることです。**

**B. 水は敷居の下から流れ出ます:**

1. 水が流れるためには、敷居、すなわち出口がなければなりません。
2. 私たちは、主に近づいてさらに多く彼と接触するなら、出口があり、生ける水が召会から流れ出るようになります。

**C. 流れは東に向かっていきます:**

1. 神の川は神の栄光の方向に向かって流れます。
2. 召会の中のあらゆる人が神の栄光を求め、願うなら、生ける水は召会から流れ出ます。

**D. 水は家の右側から流れ出ます:**

1. 聖書で、右側は最高の地位、第一位です。
2. 命の流れは、私たちの内側で首位を持って、私たちの生活と働きにおいて管理する要因とならなければなりません。

**E. 流れは祭壇のそばにあり、私たちが命の流れを享受するためには、十字架の対処と完全な献身を必要とすることを見せています。」**

**F. 命の流れの増し加わりのために、私たちは青銅の人としての主によって測られる必要があります:**

1. 測るとは、調べ、試験し、裁き、所有することです。
2. 千キュビトを四回測ることが(千は全体的な単位です—参照、詩 84:10)示しているのは、私たちが被造物として、主によって徹底的に測られる必要があり、それによって彼が私たちの全存在を占有し、完全に所有することができるということです。
3. 私たちが主に私たちを調べ、試験し、裁いていただき、それによって所有していただければ、ますます流れは深くなります。流れの深さは、私たちがどれほど主によって測られたかにかかっています。
4. 私たちは主によって測られれば測られるほど、ますます命の恵みの流れによって拘束され制限されて、ついには川としての流れる三一の神の中で失われ、この川によって流されて、その中で泳ぐまでになります。ある意味で、私たちはすべての自由を失いますが、別の意味で、私たちは真に自由です。」

**G. 川はすべてのものを生かします:**

1. 川が流れる所では、すべてのものが生き、命に満ちます。
2. 川の流れは木、魚、家畜を生み出します。」

**H. 川は砂漠を潤し、死海をいやします:**

1. 川は、乾いて焼け付いた地を潤し、死の水をいやします。
2. この潤すことといやすことの目的は、命を生み出すことです。

**I. 川は沢と沼をいやすことはできません:**

1. 沢や沼は中立地帯、中途半端な場所、妥協となまぬるさの場所です。
2. 命の流れのために、また召会生活のために、私たちは絶対的になる必要があります。

**II. 私たちが命の流れ、命を与える霊としてのキリストを享受することは、私たちが種まく者、植える者、水を注ぐ者、生む者、養う者、建造する者となり、命を供給する務めを持つためであり、神のすばらしい有機的な建造、すなわち神の威厳ある家のためです:**

**A. 新契約の十分に資格のある奉仕者は、命を他の人に供給し、彼らが命において成長するのを助ける人です。**

**B. 命の奉仕者は種まく者であり、霊的な種をまきます:**

1. I コリント第9章11節でパウロはコリント人に、「私たちがあなたがたに霊のものをまいて」と言います。「霊のもの」は霊的な種を指しています。
2. 種は命の器であり、霊的な種をまくことは、私たちの霊の中で、私たちの霊をもって、私たちの霊から命を分け与えることです。
3. 主イエスは種まく方として来て、命の種としてのご自身を人類の中へとまきました。
4. 主の回復の中で、私たちは新契約の奉仕者として、種まく者となって命を分け与え、他の人の中でキリストを成長させ、生み出す必要があります。

**C. 命の奉仕者は植える者であり、キリストを神の民の中へと植えます:**

1. キリストの中で再生され、神の命を持つ信者たちは、神の新創造における神の耕された地、農場です。
2. 私たちはキリストを他の人の中へと植えるために、私たちの霊の中で命としてのキリストを真に経験する必要があります。

**D. 命の奉仕者は水を注ぐ者であり、キリストをもって人々に水を注ぎます:**

1. ひとたび、私たちがキリストを他の人の中へと植えるなら、命の水をもって彼らに水を注ぐ必要があります。
2. 私たち、神の農場で水を注ぐ者は、農場に水を供給する貯水槽の灌漑システムにたとえられます。私たちは神聖な「灌漑システム」となって、生ける水を内側に貯め、神の農場としての召会に水を注ぐべきです。
3. 私たちは生ける水としてのキリストに対する真の経験を持ち、彼との生ける接触を持つ必要があります。そうすることによって、私たちは生ける水の経路、すなわち神聖な灌漑システムとなることができ、命の水を他の人に供給することができます。」

**E. 命の奉仕者は生む者、すなわち、彼が生んだ子供たちに命を分け与える父です:**

1. 生むとは、霊の子供たちを生むこと、命を分け与えることを通して彼らを生み出すことです。
2. 私たちは神聖な「命の胚」を持つ必要があります。それは、神聖な命を他の人の中へと分け与えて、彼らが神の子供たちとして生み出されるためです。

**F. 命の奉仕者は養う者です。養うことは命の事柄であって、教えることとは異なります。教えることは知識の事柄です:**

1. 乳を飲ませ、あるいは食物を与えることが、人を養うことです。
2. 使徒がコリントの信者たちに供給したものは、知識のように見えても、実は、乳であり(まだ固い食物ではない)、それは彼らを養ったはずでです。
3. 使徒たちの健全な教えは、命の供給としての健康な教えを人々に供給し、それは彼らを養ったり、いやしたりしました。

**G. 命の奉仕者は建造する者であり、金、銀、宝石をもって建造します:**

1. 金は父なる神の神聖な性質を象徴し、銀はキリストの贖いの働きを象徴し、宝石はその霊の造り変える働きを象徴します(これは人の性質を表徴する木、肉の中の人を表徴する草、命のないものを表徴する刈り株に相對します)。
2. 雅歌が描写しているのは、正常な召会生活の中で、成就された信者たちが造り変える霊と組み合

3. 「あなたが主の回復の中にいるなら、絶対的に回復の中において、中途半端でないようにしなさい。…主イエスは絶対的であることを願ひ、要求され[ます]。…絶対的であることによって、私たちは流れの中におり、その流れは細々とした流れではなく、泳げるほどの川となるでしょう。そして川が入る所では、すべてのものが生きるでしょう。」

**第一日:** エゼキエル 47:1 次に、彼は私を家の入り口に連れ戻した。すると、見よ、水が家の敷居の下から東へ流れ出ていた(家が東に面していたからである)。その水は家の南側、祭壇の南を流れ下っていた。

詩篇 46:4 一つの川がある。その流れは神の都を、いと高き方の幕屋である聖なる場所を喜ばせる。

Ⅱコリント 3:18 しかし、私たちはみな、主の栄光をおおひのない顔をもって、鏡のように見つめ、そして反映して、栄光から栄光へ、主と同じかたちへと徐々に造り変えられていきますが、それはまさに主なる霊からです。

ヨハネ 7:18 自分から語る者は、自分の栄光を求める。しかし、遣わされた方の栄光を求める者は、真実であり、彼の中に不義はない。

Ⅰコリント 10:31 こういうわけで、あなたがたは食べるにも飲むにも、また何をするにも、すべて神への栄光のために行ないなさい。

**第二日:** エゼキエル 47:3 その人は…千キュビトを測った。そして、私にその水を渡らせると、水はくるぶしに達した。4 彼が千キュビトを測り、私にその水を渡らせると、水はひざに達した。彼がまた千キュビトを測り、私にその水を渡らせると、水は腰に達した。5 さらに、彼が千キュビトを測ると、渡ることができない川になった。

詩篇 84:10 まことに、あなたの外庭にいる一日は、よその千日にもまさります。私は悪しき者の天幕に住むよりは、むしろ、わが神の家の門口に立つことを選びます。

Ⅰヨハネ 1:5 さて、私たちが彼から聞いて、あなたがたに伝える知らせはこれです。すなわち、神は光であって、神の中には少しの暗やみもありません。

**第三日:** エゼキエル 47:8 …この水は東の地域に向かって流れ出て、アラバに下り、海に行く。…9 この川が流れて行くすべての所で群がるすべての命あるものは生き、この水が入ると、非常に多くの魚がいるようになる。…10 漁師たちはエン・ゲデからエン・エグライムまで、海のそばに立つ。そこは網を広げる場所となる。

**第四日:** エゼキエル 47:11 しかし、その沢と沼はいやされない。それらは塩地のまま残る。12 川の両側の岸では、あらゆる種類の木が食物として生長する。その葉は枯れることがなく、実は絶えることがなく、毎月、新しい実を結ぶ。その水がそれらのために、聖なる所から流れ出るからである。その実は食物のためにあり、その葉はいやしのためにある。

啓 3:15 私はあなたのわざを知っている。あなたは冷たくもなく熱くもない。私は、あなたが冷たいか熱いかであってほしい。16 そのように、あなたはなまぬるくて、熱くも冷たくもないので、私はあなたを私の口から吐き出そうとしている。

**第五日:** Ⅱコリント 3:6 神はまた私たちを新しい契約の奉仕者として、資格づけてくださいました。それは、文字ではなく、霊の奉仕者です。なぜなら、文字は人を殺しますが、その霊は人に命を与えるからです。

Ⅰコリント 3:6 私は植え、アポロは水を注ぎました。しかし、神が成長させてくださったのです。7 ですから、植える者も水を注ぐ者も取るに足りません。重要なのは、成長させてくださる神です。9 なぜなら、私たちは神の同労者であり、あなたがたは神の耕された地であり、神の建物であるからです。

ヨハネ 4:14 しかし、私が与える水を飲む者はだれでも、決して永遠に渇くことはない。私が与える水は、その人の内で源泉となり、湧き上がって、永遠の命へと至るのである。」

わされて、キリストを愛する尋ね求める者たちを成就し、三一の神を彼らに供給し、三一の神の属性が彼らの中へと造り込まれて彼らの美德となることによって、彼らを造り変えるということです。

3. これは、キリストの有機的なからだとしての召会を建造して、新エルサレムを究極的に完成し、神の永遠のエコノミーを完成するためです。

**第六日:** Ⅰコリント 4:15 …私がキリスト・イエスの中で、福音を通してあなたがたを生んだからです。32 私はあなたがたに乳を飲ませて、固い食物を与えませんでした。なぜなら、あなたがたは、まだそれを受けることができなかったからです。…10 私に与えられた神の恵みにしたがって、私は賢い建築家のように土台を据えました。そして他の人がその上に建てます。しかし、どのようにその上に建てるか、各自は注意しなさい。

Ⅱテモテ 1:13 あなたが私から聞いた健康な言の模範を、キリスト・イエスにある信仰と愛の中で保ちなさい。

《預言ノート》

## 経験①: 主によって測られ、命の水の川が流れ出る

エゼキエル書第 47 章における私たちのための主要な点は、私たちがみな進んで測られる必要があるということです。私たちはもがき、奮闘し、努力して何を行なおうとする必要もありません。…唯一の必要は、…何度も何度も測られるということです。私たちは主に告げる必要があります、「主よ、私は進んで測られます」。そうすれば、流れは最終的に川になります。ある地方召会の聖徒たちが、進んで何度も何度も、四回、百パーセント測られるなら、干からびた荒野を潤し、死んだ海をいやし、木を育て、魚を生み出し、子やぎと子牛を生み出す川があるようになるでしょう。私たちが必要とするのは、主の行動のために測られることです。私たちは主によって試験され、調べられ、占有され、所有される必要があります。

### 在職青年編

あなたは主によって調べられ、試験され、裁かれることによって、主に所有していただくほど、ますます流れは深くなります。流れの深さは、あなたがどれほど主によって測られたかにかかっています。

人は神との関係において、二つの重要な問題があります。一つは神に対して絶対的でないことです。もう一つはあなたの人間性がバランスが取れていないということです。したがって、主によって測られるとき、これらのことが測られます。

19 世紀に主は英国で一群れの兄弟たちを興され、召会生活を回復し、聖書の神聖な真理を解き放ちました。彼らがなぜ召会生活と真理を回復できたのかというと、彼らが絶対的に主の言葉に従ったからです。他方、召会の墮落の歴史を考察すると、墮落の原因がバビロンの原則にあることが分かります。バビロンの原則とは、偽善、混乱、混合などで、それは中途半端で絶対的でないものです。例えばバビロンでは、神のものと偶像のもの混合しています。神のものがあるところには偶像礼拝も同時に存在します。このような混合は、神に対して絶対的でないので、神によって忌み嫌われます。あなたは召会の墮落と回復からその Key Success Factors (重要な成功の要因)と Key Failure Factors (重要な失敗の要因)から学ぶ必要があります。

バビロンの原則はまた、偽善です。あなたは主の前に来るとき、霊的な振りを装ったり、嘘をついたりして偽善に陥ってはいけません。主と交わっているとき、あるいは集会の中で、主はあなたを測り、あなたが中途半端で絶対的でないことを指摘したとします。あなたは指摘されていないようにふるまってははいけません。墮落した人は誰も主に対して絶対的ではないのです。しかし、主を賛美します。主は人として、地上で三十三年半、絶えず父なる神に対して絶対的でした。最終的に父の御心に従って十字架で死なれました。この主の人性だけが、神に対して絶対的なものであり、神の満足のための全焼のさげ物なのです。墮落した人の内側には、バビロンの原則がありますので、人は霊的な振りをしたりする傾向があります。あなたは主の御名を呼び、主の恵みをとって、単純に純粋に主の照らしと暴露を受け入れてください。格好悪いなどと考えて、霊的な振りをしてはいけません。神のエコノミーにおける神聖な原則は、死と復活です。死がなければ、測られることがなければ、裁かれることがなければ、復活、川の流れはありません。ですから格好悪くてもよいのです。

主があなたを測るとき、主はまたあなたのアンバランスな人性を暴露します。例えばあなたは元気の良い人ですので、物事に対する反応が早いです。反応が早いことは一面で長所なのですが、あなたは熟慮なしにすぐにさまざまなことに反応して不適切なことを発言してしまいます。このような熟慮のない発言は、多くの場合、人間関係を破壊します。ここでの要点は、人性のバランスが悪いので、長所が生かされておらず、かえって問題を引き起こしているということです。

### 詩歌 458 の 3 節

あいのたい処をば、つらくかんじ、 自我に捕らわれし われ、恥じるのみ、  
主よ、わがおもいを かえりみずに、 主のよろこぶまま、御むね成しませ。  
打げきみな、えきとなし、 取りしものに代え、 主はご自身あとう。

## 経験②: 新契約の奉仕者は、命を他の人に供給する

新約の奉仕者が行なう第一のことは、教理的な教えを伝えるのではなく、霊的な種をまくことです。種は命の器であり、種をまくことは命を分け与えることです。このゆえに、霊のものをまくことは命の事柄です。マタイによる福音書第 13 章によれば、主イエスは種まく方として来て、命の種としてのご自身を人類の中へとまきました。…主の回復の中で、私たちは新契約の奉仕者として、種まく者となって、命を他の人の中へと分け与える必要があります。

種まく者となることは、教師になることよりもずっと難しいのです。教師となるために、人はただ聖書学校へ行く必要があるだけであり、そこで彼は良い語り手となるように訓練されて、聖書の教理やたとえだけでなく、またどのように自分の声を用い、物語を話し、雄弁に語り、身振りを用いるかを学ぶでしょう。しかしながら、種まく者となるためには、他の人たちの中でキリストを成長させ、生み出すことのできる命の種を持っていなければなりません。そのような霊の種は単なる教理や文字ではありません。そうではなく、それらは私たちの霊の中にある命のものです。それらは霊のもの、すなわち、私たちの霊の中にあり、私たちの霊と共にあり、私たちの霊から出てくるものです。

### 中高生編

新契約の奉仕者は、命を他の人に供給し、彼らが命において成長するのを助ける人です。命の奉仕者は種まく者であり、霊的な種をまきます。

あなたは中高生の時から、他の人に命を供給することを学んでください。他の人に命を供給することについて、二つのことを学んでください。一つは、より幼い人に供給することであり、もう一つは召会生活の相互性を理解して、あなたに仕えている奉仕者にも供給することです。

召会生活には小学生の子供たちがいます。彼らの多くは幼いので、まだバプテスマされておられません。しかし彼らは中学生になる前、小学校 5、6 年生のときにバプテスマされるべきです。あなたは小学生の時代を経験してきたので、彼らの陥りやすい失敗や弱さを同情することができます。自分は若く弱い者なので他人に命を供給することはできないと考えないでください。あなたは弱いかもしれませんが、彼らはもっと弱いのです。中高生で新しく救われた兄弟姉妹、集会に来れなくなった兄弟姉妹、福音友人、引っ越して来たばかりの人なども原則は同じです。彼らに関心を持ち、彼らのために祈ったり、言葉をかけてあげてください。

さらに、召会生活の中で、主は相互性を回復しようとしておられますので、あなたは召会の奉仕者についても祈るべきです。以下の聖書を読んでください。

ヘブル 10:24 また互いに顧みて、愛と良いわざに励み合おうではありませんか。25 ある人たちが習慣としているように、私たち自身の集会を放棄してはいけません。むしろ、互いに勧め合いましよ。かの日が近づいているのを見ているのですから、ますますそうしようではありませんか。

ここには、「互いに顧みて」、「励み合う」、「互いに勧め合う」という表現を用いて、召会生活の相互性の重要性を示しています。ですから、中高生のあなたは、青年地区の奉仕者、大学生の兄弟姉妹、自分の両親、召会の責任者、特別集会などで言葉の務めをしてくださる同労者のためにも祈ってください。

ウィットネス・リー兄弟の証し: 1986 年 8 月から 2 年間、リー兄弟はアメリカのアナハイムから台北に移られ、FTTT (台北全時間訓練) を実施されました。ある時、リー兄弟は、体調を崩され、その週、訓練で語るができませんでした。そのことを台北の召会は聖徒たちに知らせ、祈るように求めました。それを聞いたある高校生の姉妹が、リー兄弟に手紙を書きました。その内容は、「私は兄弟が病気になっていることを聞き、とても心配しています。兄弟の体調は少し回復したのでしょうか?」といったものです。リー兄弟はこの手紙を読んでとても励まされたので、アンドリュー・ユー兄弟は、全時間訓練でその手紙を読んで訓練生に聞かせました。アンドリュー兄弟は、「私たちはリー兄弟のために祈る必要があります。この幼い姉妹は良い模範です。リー兄弟はこの姉妹から供給を受け、新鮮にされました」と言いました。

614 召会—その建造

1. めぐみの主よ、霊の交流！  
せつにわれは もとめる！  
てつのかべを 押したおして、  
主とまじわり、霊ながす！
2. めぐみの主よ、霊の交流！  
いま霊の交流、懇願する！  
他人、見下げず、自己閉ざさず、  
主とまじわり、霊ながす！
3. めぐみの主よ、霊の交流！  
われはいのり もとめる！  
もはやからに 閉じこもらず、  
ながれ止めず、霊ながす！
4. めぐみの主よ、霊の交流！  
たずねもとむ、霊の交流！  
もはや自己を かい良せずに、  
日ごと、日ごと、霊ながす！
5. めぐみの主よ、霊の交流！  
めぐみの主よ、要求する！  
自己をたおし、へりくだらせ、  
いのちながし、霊ながす！
6. わが霊を主よ、ながせや！  
めぐみの主よ、われ、ねがう！  
建ぞうされて、主とまじわり、  
ひとと調和し、霊ながす！

614 召会—建造

1. 灵能交流，恩主，灵能交流！  
我今切求，恩主，灵能交流！  
甚愿一反已往，推倒铁壁铜墙，  
灵能交流通畅，灵能交流！
2. 灵能交流，恩主，灵能交流！  
我今恳求，恩主，灵能交流！  
不再自满自负，不再作茧自缚，  
灵能交流无阻，灵能交流！
3. 灵能交流，恩主，灵能交流！  
我今祈求，恩主，灵能交流！  
不再不凡自命，不再自觉聪明，  
灵能交流不停，灵能交流！

4. 灵能交流，恩主，灵能交流！  
我今寻求，恩主，灵能交流！  
不再自藏自隐，不再独善己身，  
灵能交流日深，灵能交流！
5. 灵能交流，恩主，灵能交流！  
我今要求，恩主，灵能交流！  
打倒自持架格，走下作人宝座，  
流出活水江河，灵能交流！
6. 灵能交流，恩主，灵能交流！  
允我所求，恩主，灵能交流！  
切愿能被建造，不但与你相交，  
且能与人相调，灵能交流！

846. The Church – Her Building

1. Oh, may my spirit flow,  
Oh, may it flow!  
Now I beseech Thee,  
Lord, Oh, may it flow!  
My past I would forsake,  
The iron walls would break,  
My spirit free would make;  
Oh, may it flow!
2. Oh, may my spirit flow,  
Oh, may it flow!  
Now I implore Thee,  
Lord, Oh, may it flow!  
No more self-satisfied,  
No more in self-bound pride,  
No more my spirit tied;  
Oh, may it flow!
3. Oh, may my spirit flow,  
Oh, may it flow!  
For this I plead with Thee,  
Oh, may it flow!  
High-minded not to be,  
Pride shall not prison me,  
I'd flow unceasingly,  
In spirit flow.

4. Oh, may my spirit flow,  
Oh, may it flow!  
For this I seek Thee, Lord,  
Oh, may it flow!  
No more to isolate,  
Nor self to perfect make,  
My spirit nought abate,  
Deeply to flow.
5. Oh, may my spirit flow,  
Oh, may it flow!  
I ask Thee, gracious Lord,  
Oh, may it flow!  
My trust in self o'erthrow,  
Down from self's throne I'll go,  
That living water flow  
In spirit, Lord.
6. Oh, may my spirit flow,  
Oh, may it flow!  
Answer my prayer, dear Lord,  
Oh, may it flow!  
Not just commune with Thee,  
I long to builded be,  
Mingle with others free  
In spirit, Lord.